

令和8年度 学校経営シラバス

校訓	志高く 真理求める 智者となれ	学校教育目標 (めざす生徒像)	新しい価値を創造し、未来を切り拓く人材を育てる
			1 自ら考える力と学ぶ意欲を身につけ、自己実現を目指す人(知) 2 倫理観、公共心や思いやりの心を培い、地域に貢献しうる人(徳) 3 自ら鍛える心もち、強健で気力ある人(体)

1 経営理念

○ 地域社会における使命<本校のミッション>

- (1) 生徒の興味・関心、進路希望等に応じて柔軟に教育課程を編成し、個々の進路実現に向けて必要な能力や態度を身に付けた生徒の育成
- (2) 地域の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創っていく生徒の育成

○ 使命の具体化への考え方<本校の教育ビジョン>

- 地域や他者との関わりの中から、自己のあり方・生き方を見出し、多様な他者と協働し新たな価値を創造できる人材の育成を地域の関係機関との連携により実現する。
- 1 生徒の発達段階を踏まえた多様な教科・科目を開設し、基礎・基本の確実な定着と興味・関心を高める教科指導の工夫・改善に努めるとともに、探究的な活動を通じ、思考力・判断力・表現力を磨き、他者と協働して課題解決に向かう意欲の喚起に努める。
 - 2 生徒との対話を通じて、自己理解を深め、自己指導能力を高める伴走型の支援を心がける。さらに倫理観、協調性や受容力を高める機会を充実させ、自律した行動の確立をととして、主体的に高校生活に取り組む態度の育成に努める。
 - 3 自らを鍛える人間力と適切な職業観・勤労観を身に付けるために、砂川市や地域の事業所、上級学校との連携・協力体制を構築し、ジョブスタ事業・インターンシップ事業等を計画的に実施するなど、地域と一体となったキャリア教育の推進に努める。

2 本年度の学校経営戦略

○ 教育活動

項目	中期目標	今年度の重点目標	目標達成のための評価の観点
学習指導	主体的に学ぶ意欲の向上と確かな学力の育成	①生徒一人一人の能力・適性を踏まえた基礎基本の確実な定着、自ら学ぶ意欲・態度の育成 ②生徒の実態に応じた教育課程の編成、学習環境の整備	・生徒の実態を的確に把握し、基礎基本の定着を実現する授業の質が保たれ、授業時数が確保されたか。 ・校内外での研修を深めたり、生徒の声を生かしたりするなど、学習意欲を高める授業内容や方法の工夫・改善及び学習評価がなされたか。 ・家庭での学習習慣の確立に向けた取組がなされたか。 ・単位制の特色を生かした教育課程の編成を推進し、進路希望を踏まえ、選択授業や少人数指導等が展開されたか。
生徒支援	倫理観や協調性等を高め、自己理解に基づく自律心の育成	①伴走型の支援を通じた自己理解の深化と自己指導能力の伸長 ②倫理観、協調性や受容力を育み、自律性の確立 ③生徒の創意工夫を生かしたホームルーム活動、生徒会活動の推進	・生徒との対話を重視し、自己理解を促し、自己指導能力を高める支援を行う体制づくりがされているか。 ・教育相談機能を充実し、いじめや差別を見逃さない組織的な対応が適切になされたか。 ・主体的なホームルーム活動、生徒会活動、委員会活動、部活動を促し、地域とも結び付いた活動の充実が図られたか。 ・飲酒運転防止運動の地域への啓発活動が、交通安全の意識や規範意識の向上につながっているか。
進路指導	職業観や勤労観育み、自らの人生を切り拓こうとする態度や力の育成	①自己のあり方、生き方を追究し、進路実現に向け常に挑戦しようとする態度を育成 ②望ましい職業観、勤労観を身に付け、能力・適性を把握し、将来を積極的に考え、自ら解決する能力の育成	・3年間を見通したキャリア教育が適切に推進され、地域の関係機関と連携した指導体制が構築されているか。 ・一人一人の進路実現に必要な資料収集や地域人材・教育力の有効活用がなされ、進路ガイダンスが充実しているか。 ・講習の在り方の工夫・改善、スタディーサプリ等の有効活用等、学力向上を基盤とした多様な進路の保証がなされたか。 ・インターンシップやジョブスタ事業等の円滑な実施により、適切な職業観・勤労観を育成するキャリア教育が推進されたか。
健康安全指導	困難を克服する力など人間力の鍛錬 心身の健康と学校安全、環境美化意識の育成 感染予防対策	①困難な課題を克服しようとする態度を育む。 ②生徒自身が健康的な生活を送る自己管理意識の育成と教育環境の整備の推進 ③教育相談活動、特別な支援を必要とする生徒への支援の推進	・自己や周囲の環境に関わる困難を受容し、それを周囲と協調し、克服する力を育てる指導が行われているか。 ・健康を主体的に考えさせるために、保健だよりの活用、保健講話の実施などの啓発・指導は効果的になされたか。 ・生徒の健康状況の把握と健康の保持増進に向けた適切な指導、感染予防対策、教育環境の整備がなされたか。 ・全校的な教育相談体制の構築と実施がなされたか。 ・特別な支援が必要となった生徒へ対する組織的対応がなされたか。

○ 学校運営

信頼される学校づくり	開かれた学校づくりと地域の期待に応える学校づくりの推進	①開かれた学校づくりに向けた地域との新たな連携体制づくりとPTA活動の活性化 ②義務教育学校や中学校と連携した生徒募集の充実	・単位制の魅力や生徒の活動を周知するために、印刷物の発行、Webや各種メディア等を活用した広報活動は効果的になされたか。 ・PTA活動は活発になされたか。 ・体験入学の実施など中学生にとって魅力ある生徒募集が行われたか。 ・学校評価の実施と結果を公表する等、説明責任は果たされているか。
組織運営	学校課題の共有及び課題解決に向けた協働体制の確立	学校課題の共有及び課題解決に向けた円滑な協働体制の確立	・教育の動向の把握や学校経営について課題意識の共有のための情報提供、研修が適切になされたか。 ・効率的な各分掌や委員会組織が効率的かつ機動力を十分に発揮するための業務内容の検討がなされたか。
教職員の資質の向上	全職員一人一人が資質向上をめざし、その活力を結集させ学校力の向上を図る	学校の教育活動を推進させる活力ある教職員集団の構築と他校種と連携した研修の充実	・教科指導力の向上をめざす校内研修の推進と、市内義務教育学校との連携を推進し、授業改善・学習評価の研究を深められたか。 ・教職員の働き方改革に、具体的効果が認められたか。 ・服務規律厳守の啓発のため、日常の情報共有がなされたか。